

春秋座のイイところ

頑張る学生アルバイト!

5月27日の歌舞伎舞踊講座。ご覧になった方はお気付きでしたでしょうか? ぎこちない仕事・緊張気味の笑顔で皆様を迎え、ご案内したのは、学科・コースも様々な学生達でした。

春秋座の常駐スタッフは8人。公演ごとの増員はあるものの、座席数800を超える劇場を運営するにはあまりに少ないのです。

そこで登場するのが京都造形芸大生によって編成される、学生アルバイト集団です。

2001年5月の柿落し公演以来、表に裏に、上に下にと活躍した49人は、1年を経て立ち姿にも風格漂う、この頃。そんな彼ら1期生に加えて今年4月、新たな募集に応じてくれた男女、総勢72人。橋室長による4日間の研修を受けて、新人達が次々とデビューしていきます。その第一陣が5月27日だったのです。人と人との間に起こる予想外の出来事にしばらくは緊張が続くそう(スタッフにも)。でもきっと、人をもてなす喜びと、このもう一つの舞台の重要性を実感してくれていることでしょう。



緊張した面持ちで役者さんにお茶汲みする学生アルバイト



ホワイエ(劇場入口)にて行われる開演前のミーティング

舞台の素

スッポンの巻

オペラにオーケストラ・京劇と様々な催物が行われる「春秋座」だけど、チョウチン越しに花道・セリ・廻り舞台を眺めるとやっぱりここは歌舞伎劇場なんだなーと改めて思ってしまう。その中でもスッポンはとりわけユニークな設備だ。この、面白い名前のついた“スッポン”とは、花道の揚幕から七分、舞台から三分の位置にある小型の切穴で、床が昇降する仕組みになっている。「春秋座」では、なおかつそこが二分割になっていて二面が逆の上下運動をする。この“チャンチキ”（まだビデオでしか見た事ないけど）がとても面白い効果を生み出す。スッポンは現実とはかけ離れたもの、私の苦手な幽霊・妖怪変化忍者などが忽然と現れたり消えたりする時に使われる。語源はセリ上りの演者が首から出るさまがスッポンに似ているから・上がりきった時に「スッポン。」と音がするからなど、うそのような本当のような説があるそうだ。

このような歌舞伎スタイルを基本としつつ、花道を取り外しオーケストラピットを設置すれば、なんとオペラの上演もできるという事も、オペラの良さに目覚めてきた私が、いい劇場だなと思う一つです。(中山)



実際の春秋座のスッポン。危ないのでお手を触れてはいけません。

チケット購入方法が変わりました!!

チケットお求めの方は、劇場企画運営室 NA312(京都造形芸術大学 人間館A棟3F)までお立ち寄り下さい。

お電話でのご予約も承ります。その際、友の会会員である事を必ずお伝え下さい。遠方にお住まいの方には、現金書留でのお支払いをご案内しておりましたが、この度郵便振替口座の準備が整いましたので、今後は郵便局からのご入金も可能です。ご利用になられる方は、チケットお申込みの際にお知らせ下さい。

京都芸術劇場企画運営室
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
TEL 075-791-8240 FAX 075-791-9438

編集後記



終演後亀治郎さんと一緒に記念撮影

『亀治郎の会』プレイベント、春研企画『亀治郎節』は、亀治郎文をはじめプロの方々の協力の下、客席と舞台の距離がいつもより近く感じられるほど、和気藹々と開催されました。“はるけん”こと、春秋座学生運営企画研究会については、また詳しくお伝えします。やっと形になった会報《春秋-こよみ》。予定が狂って「京舞」のチケット発売に発行が間に合いませんでした。反省!でも、饅食べて第2号へパワーアップ!!

編集
京都芸術劇場
企画運営室
ディレクション
西川真由実
デザイン
福井瑞穂

京都芸術劇場春秋座友の会季刊誌

春秋

KOYOMI

SINCE 2002 AUGUST

第1号 2002年8.9.10月

2002年8月31日(土)・9月1日(日) 総2回公演
韓国伝統音楽と踊りの大饗宴

韓国最高の芸術人と伝統者による
歌・舞・楽の誘い



京都芸術劇場
春秋座

「恨」～すべての感情を乗り越えた悦楽～

韓国留学生 芸術文化学科3回生
韓昇祐
ハンソン



韓国伝統音楽と踊りの大饗宴



今になって日本の方々にもずいぶん馴染みのある言葉の一つになっているのではないかと思います。韓国語の中で「ハン＝恨」という言葉があります。それが今回の「韓国伝統音楽と踊りの大饗宴」のチラシの中で、「溜息と悲しみ」と訳されているのを見て、外国語を翻訳することにあたっては当然のことですが、他の言語に訳して、完全な意味を伝えるのはやっぱり難しいと思わざるを得ませんでした。何故ならば、「ハン＝恨」という言葉には他の国の人には伝わりにくい、訳することができないところを持っているからです。それが何かというと、時間と年月が込められているところとも言えるのでしょうか。何かの場面に直面して起きる感情の変化によるものならば、それは日本語では悲しさ、もしくは悲痛などで十分だと思えますが、「ハン＝恨」の場合その時間は一世代ではなく、長い年月を越えて蓄積されてきたものなのです。そして、「ハン＝恨」はよく悲しさに例えられられますが、それだけではありません。その中では一人の人間として生まれて覚えたすべての感情を乗り越えた悦楽の意味さもあるのです。長い時間をその風土と共にしないと分からないこと、そのようなことは自分の国を抜け出すと極当たり前のこととなります。誰もがそのようなところを少しでも理解しようとしているからこそ、今回のような公演も可能になったのではないかと思います。この公演をきっかけに日本の皆さんが韓国にもっと興味を持つようになることを祈りながらこの未熟な文書を書き終わらせていただきたいと思います。

造形大生の目

時代と伝統～茨木を観て～

私が市川猿之助先生の公演を観たのは今回が初めてだった。歌舞伎といえどある程度の経済的、時間的余裕と知識がなければ気軽に足を運べるものではなかった。しかし今回は大学の配慮もあり、特に知識を貯えるという意味では非常に充実していた。

その日、お弟子さん達を引き連れて猿之助先生は私達の前に現れた。事前の講座である。先生は今回の演目について分かりやすくお話してくださった。中でも茨木の見どころである伯母真柴の演技についてのお話は実に興味深かった。「真柴は実は茨木童子であり、取られた腕を取り戻そうとやってくる。」これが基本的なストーリーだが、そこには実に巧みな演技が隠されていたのだ。先生は真柴の見どころをいくつか挙げていた。一つは渡辺源次綱に家に入る事を許された真柴の喜ぶ姿。そして鬼が化けている真柴には左手がない為、右手だけで演じているという点だ。これは「茨木」を鑑賞するにあたって、最も重要な点である。さて、実際に「茨木」を観ると、私は真柴が登場した時に艶やかさと恐ろしさが介在した空気を感じた。渡辺源次綱にとっては伯母である事に疑いはなく、しかし我々観客にとっては間違いなく鬼が化けたものなのだ。故に招き入れられた真柴の異様な喜びや右手だけでの演技、そして鬼の腕の在る所を尋ねる真柴の笑みは実に妖艶なのだ。舞台上の誰もが知り得ない真柴の正体を、真柴と我々観客だけが知っている。知っているからこそ理解できる演技はいわば、茨木童子と観客だけの秘密の会話でもある。それが私達観客の心を釘付けにするのだろう。

「伝統はただ引き継ぎ伝えていくだけでは伝統とは言わない」と私は思う。伝統芸能は伝統と共に時代時代の特色が絡むからこそ深くなり、消える事無く後世に引き継がれるのだ。猿之助先生の演技が私のような若年者にも魅力的に思え、心から楽しめるという事実がその事を証明してはいまいか。



芸術文化学科4回生
中川 愛子



市川猿之助公演「茨木」 5月29日・30日春秋座公演

茨木
鬼の片腕を斬り取った渡辺綱のところへ訪ねてきた伯母・真柴は、実は腕の持ち主・茨木童子。物思みで会えないと言う綱をかきくどきついに門内へ招き入れた真柴は、片腕を見るやたちまち鬼の本性を顕わし…作・河竹黙阿弥 猿之助氏は、平成十年に第一次春秋会で初演。

公演スケジュール

8/31(土) 14:30~
9/1(日) 13:00~
総2回公演
韓国伝統音楽と踊りの大饗宴 チケット発売中 一般3,500円(会員前売り3,000円) 学生割引1,000円
日本と韓国の間では、近年、映画や音楽など、文化的な交流が盛んになってきています。そして今年(2002年日韓国民交流年)。この記念すべき年、春秋座では、演出家をはじめとして多くの重要無形文化財保持者が出演し、大饗宴！これまで見知ったものとは異なる、さらに奥深い韓国をご覧ください。
演目：珍島ブクチュム…韓国湖南の伝統的な太鼓踊り サルブリ…巫女の即興的な踊り 等



9/4(水) 18:00~
心のふるさとふれあいコンサート
「赤い靴」「こいのぼり」「みかんの花咲く丘」…全部歌えますか？みなさん。楽しい事・悲しい事、歌でいろんな思いが蘇ります。本当に心地よく、優しくなる名曲が日本にはありました。ソプラノ歌手 加来陽子と、ギタリスト 西野雅人による「ふれあい」コンサート。どうぞ客席で口ずさんで下さい。
入場無料
歌：五木の子守唄・うさぎのダンス・十五夜お月様・小鹿のパンピ・船頭さん・シャボン玉 他



9/27(金) 18:00~
前進座公演 三人吉三巴白浪 チケット発売中 一般7,000円(会員前売り6,300円) 学生2,000円
名刀庚申丸が百両の金に姿を変え、何人かの手に渡るうち、百両をめぐって名うての盗賊お嬢吉三、お坊吉三、和尚吉三が大川端で出会い、義兄弟の血盃をかます。しかし、悪事を重ねた三人には、さまざまな因縁がからんでいた。追いつめられた三人吉三は、本郷火の見櫓廻りで大立ち回りを繰りひろげ…
8/9(土) 13:00~ 16:30~ 同日2回公演
第2回 京舞の夕べ 8/9前売り開始 一般6,000円(会員前売り5,500円) 学生1,500円
昨年6月の春秋座開場記念公演「京舞の夕べ」の好評にちなみ、vol.2が決定しました。京舞・井上流は、公家の侍女や大名の腰元に教えていた舞が源となり、これまで200年間、京の女性達の手で守られ、受け継がれてきました。そして「都おどり」の創始以来、祇園の核となっています。能や文楽の影響を色濃く映し、静かさや品格のある京舞を、今年は秋の春秋座でお楽しみ下さい。
演目：「口切」「鉄輪」「信乃」「十二月」



11/9(土) 19:00~
千麗舞の夕～古典への回帰～ 8/27前売り開始 1階指定席6,000円(会員前売り5,500円) 2階自由席3,000円(会員前売り2,700円) 京都造形芸術大学生1,500円
国内だけでなく、海外にも活動を広げ、日本舞踊の枠を超えた独自の世界を表現し続ける、舞踊家 西川千麗。文学や音から、自然と湧き上がる「言葉にならない何か」を伝えようとするその舞は、(日舞)のイメージを変えます。オリジナル作品の、スイス・ドイツでの公演を控える今改めて古典に立ち戻り、日本を見つめます。
演目：「山姥」「お夏狂乱」他



12/21(土) 15:00~ 19:00~ 同日2回公演
茂山狂言会 ※10/28前売り開始 全席指定 S席8,000円(会員前売り7,200円) A席5,000円(会員前売り4,500円) B席3,000円 造形大学生1,500円
稀曲「唐相撲」を引っさげて、全国行脚の茂山一家。総勢45名の狂言師が所狭しと登場します。日本の相撲取りが中国の帝王に帰国を願ひ出ると、帝王は、もう一度相撲が見たいと所望する。そこで唐人たちは、アクロバティックな組手で次々と日本人に挑むが、見事に倒され、最後には帝王自らが相手をする事になり…。地元・京都で迎える千秋楽は、歌舞伎劇場である春秋座の特徴を生かしての(春秋座ヴァージョン)見逃すべからず！
※春秋座友の会会員様に限り10/25 午前9時から午後5時までの間チケット先行発売！



12月23日(月) 14:00~
高校演劇コンクール近畿大会優秀校招待公演・演じる高校生 9/24前売り開始 一般1,000円 学生500円
あなたは高校生の演劇を見たことがありますか？
スポーツの世界で高校生が大活躍しているように、演劇の世界でも高校生は元気活発としています。京都芸術劇場 春秋座で、今年度の近畿大会最優秀校、第2位校を招待し、条件の良い舞台で思いっきり演じてもらう。第2回「演じる高校生」純粋で瑞々しい高校生の演劇に、再び触れて下さい。

